

令和3年度

弟子屈町の教育



— 弟子屈町教育委員会 —

— 目 次 —

1.	弟子屈町民憲章	1
2.	地名の由来	1
3.	弟子屈町の地勢	1
4.	弟子屈町教育目標	2
5.	弟子屈町教育施設の沿革	3～5
6.	弟子屈町教育委員会委員構成	6
7.	弟子屈町教育委員会事務局構成	7
8.	令和3年度教育行政執行方針	8～10
9.	学校教育施設	11～15
10.	社会教育施設	16～24
11.	教育予算	25～29
12.	児童生徒数の推移	30
13.	文化財	31
14.	審議会等	32
15.	教育関係機関団体	32
16.	主な団体構成	33
17.	弟子屈町教育の特徴	34
18.	教育関係施設位置図	35～36

1. 弟子屈町民憲章

弟子屈町民憲章（昭和51年7月20日制定）

前 文

わたしたちは、美しい摩周湖と、すばらしい大自然のなかに輝かしい未来を見つめる弟子屈の町民です。

わたしたちは、祖先の築いた開拓の偉業をうけつぎ、責任と誇りをもって、明るく住みよい郷土を建設するために、この憲章を定めます。

本 文

- 1 元気で働き、産業を高め、豊かなまちをつくりましょう。
- 2 きまりを守り、明るく楽しいまちをつくりましょう。
- 3 すぐれた自然を大切に、美しい観光のまちをつくりましょう。
- 4 たがいになかよくたすけ合い、しあわせなまちをつくりましょう。
- 5 みんなで学び、文化の香り高い平和なまちをつくりましょう。

2. 地名の由来

アイヌ語の岩盤という意味「テシカ」と土という意の「ガ」から成り立つ。「岩盤の上」という語源は、その昔アイヌの人たちが釧路川で魚を採集していた時、現在の市街地付近の川床には岩盤が多くて魚網を仕掛けるための杭を打ち込むことが出来ない、「岩盤の上だ！」と嘆いたことに由来すると言われる。また他説では、「テシ」の意味は築（やな＝河川で魚を捕るための仕掛け）であるが、地名に残るテシは、天然の築のような姿の岩盤とある。

いずれも岩盤の上、築のような岩盤の上という所を表わすアイヌ語が町名となったようだ。

3. 弟子屈町の地勢

- ・位 置 東経144度13分～36分
北緯 43度23分～42分の地点
- ・広 さ 東西28.8km、南北31.0km、面積 774.33km²
- ・地 勢 千島火山帯に属する本町は、世界有数の規模を誇る屈斜路カルデラと、その東側の摩周カルデラの山麓を含み、その中央を屈斜路湖から発した釧路川が貫き、火山活動によって生じる原始的景観、温泉などに恵まれた風光明媚な土地柄は、まさに国立公園の名に恥じない地域である。地勢はおおむね起伏の多い波状丘陵地であって平坦な土地は少ないが、山林が約70%を占めるため、森と湖と火山の絶妙な景観を醸し出している。
- ・地目面積 国有地湖沼等521.28km²[67.32%]、畑92.84km²[11.99%]、山地62.78km²[8.11%]、原野53.49km²[6.90%]、牧場31.74km²[4.10%]、雑種地7.11km²[0.92%]、宅地5.09km²[0.66%]
- ・阿寒摩周国立公園面積[環境省]（昭和9年12月指定、平成29年8月8日名称変更）
特別地域72,863ha（うち弟子屈町37,986ha[52.1%]）
特別保護地区 10,460ha（3,859ha[36.9%]）
第1種 20,718ha（12,996ha[62.7%]）
第2種 24,299ha（9,693ha[39.9%]）
第3種 17,386ha（11,438ha[65.8%]）
普通地域18,550ha（内弟子屈町12,754ha[68.8%]）
合 計91,413ha（内弟子屈町50,740ha[56.0%]）
- ・湖 沼[平成22年版理科年表]
摩周湖 周囲20km・面積19.2km²・深さ211.4m・透明度28.0m
屈斜路湖 周囲57km・面積79.3km²・深さ117.5m・透明度 6.0m
- ・気 象[気象庁ホームページ]（川湯及び弟子屈の極値・統計期間1977年～2020年）
日最高気温値＝川湯+36.0℃（2019年5/26）・弟子屈+35.7℃（2019年5/26）
日最低気温値＝川湯-34.0℃（1978年2/25）・弟子屈-26.7℃（2019年2/9）
日降水最多値＝川湯140mm（1992年9/11）・弟子屈152mm（1992年9/11）

4. 弟子屈町の教育目標（弟子屈町教育のめざす姿）

学校、家庭、地域社会が連携し、ふるさとを創る人を育む

- 体力を増進し、心身ともに健康で豊かな生活を築く人
- 郷土を愛し、進んでふるさとの文化を創る人
- 自然と調和した活力と潤いにあふれた郷土づくりにつとめる人
- 働くことに誇りをもち、よりよい家庭や社会の建設につとめる人
- 生涯にわたって自ら学びつづける人

○5つの教育目標（町民の望ましい姿・教育目標の内容）

1 体力を増進し、心身ともに健康で豊かな生活を築く人	
[町民の望ましい姿] ○適度なスポーツを楽しむ生活 ○規則正しい生活 ○対話がある家庭 ○余暇を利用した家庭生活 ○地域ぐるみの子育ての推進	[教育目標の内容] ・生命を尊重し、自発的な健康づくりを推進する ・家族が協力して明るい家庭づくりに努める ・地域ぐるみで心豊かに、たくましく生きる人を育む
2 郷土を愛し、進んでふるさとの文化を創る人	
[町民の望ましい姿] ○郷土文化を基底した郷土愛 ○郷土の文化、伝統などの積極的伝承 ○情操豊かな潤いのある文化生活 ○積極的な文化活動の日常化	[教育目標の内容] ・郷土の輝かしい伝統や美しい自然を通して、郷土愛を育み、進んで郷土文化の創造に努める ・地域社会と学校が連携し、郷土の文化、伝統、歴史などの伝承に積極的に努める ・進んで芸術・文化に親しみ、情操豊かな潤いのある生活の構築に努める
3 自然と調和した活力と潤いにあふれた郷土づくりにつとめる人	
[町民の望ましい姿] ○地域の特性を活かした産業振興 ○豊かな自然、地域資源の有効活用 ○豊かな自然環境の保全 ○自然と人間との共生	[教育目標の内容] ・豊かな自然地域資源を有効に活用し、活力と潤いにあふれた地域産業の振興につとめる ・豊かな自然環境の保全と自然資源開発、地域資源活用等との調和に努める
4 働くことに誇りをもち、よりよい家庭や社会の建設につとめる人	
[町民の望ましい姿] ○仕事に対する誇り ○勤労意欲と感謝 ○明るい円満な家庭 ○地域活動への参加 ○連帯感にあふれる社会づくり ○豊かな町づくりに貢献	[教育目標の内容] ・仕事に誇りと意欲を持ち、活力ある豊かな町づくりに貢献する ・親子の絆を深め、教育の原点である明るい円満な家庭づくりに努める ・地域社会の連帯感を深め、互いに支え合い、豊かで幸福な生活を営む者枚の実現に努める
5 生涯にわたって自ら学びつづける人	
[町民の望ましい姿] ○余暇の善用 ○学習機会の積極的な活用 ○主体的に学ぶ生活 ○地域人材の有効活用	[教育目標の内容] ・いつでも、どこでも、だれでも自由に学習機会を選択して学べることを目指す生涯学習社会の実現に努める ・地域社会が一体となった学習活動の展開に努める ・目的意識を持ち、主体的に学ぶ教育の推進に努める

5. 弟子屈町教育施設等の沿革

年	主な沿革
明治33(1900)年	弟子屈簡易教育所開設(児童数37名)
明治36(1903)年	弟子屈外1村戸長役場開設
明治37(1904)年	弟子屈尋常小学校開設・奥春別教授場開設
明治39(1906)年	屈斜路簡易教育所開設・奥春別簡易教育所開設
大正元(1912)年	美留和簡易教育所開設
大正3(1914)年	美留和簡易教育所が美留和尋常小学校に昇格・尾札部簡易教育所開設
大正4(1915)年	尾札部簡易教育所が尾札部尋常小学校に昇格
大正5(1916)年	屈斜路簡易教育所が屈斜路尋常小学校に昇格
大正8(1919)年	弟子屈尋常小学校所属熊牛原野特別教授場開設・弟子屈尋常小学校所属奥春別特別教授場開設
大正10(1921)年	屈斜路尋常小学校札友内特別教授場開設
大正12(1923)年	北海道2級町村制施行、弟子屈村と称す
昭和2(1927)年	屈斜路尋常小学校川湯特別教授場開設
昭和4(1929)年	熊牛原野特別教授場が昭栄尋常小学校に昇格
昭和5(1930)年	札友内特別教授場が札友内尋常小学校に昇格・奥春別特別教授場が奥春別尋常小学校に昇格・川湯特別教授場が川湯尋常小学校に昇格
昭和7(1932)年	尾札部・屈斜路両尋常小学校を合併し和琴尋常小学校開設・弟子屈尋常小学校所属仁多特別教授場開設
昭和8(1933)年	和琴尋常高等小学校開校・川湯尋常高等小学校開校
昭和9(1934)年	仁多特別教授場が仁多尋常小学校に昇格
昭和13(1938)年	弟子屈尋常小学校所属東仁多特別教授場開設
昭和15(1940)年	弟子屈尋常小学校所属最栄利別特別教授場開設
昭和16(1941)年	美留和尋常小学校を美留和国民学校に改称
昭和18(1943)年	北海道1級町村制施行・美留和国民学校開校
昭和22(1947)年	各小学校村立から町立開校・和琴中学校開校・弟子屈中学校開校・川湯中学校設置
昭和23(1948)年	標茶農業高等学校弟子屈分校として定時制高等学校設置
昭和24(1949)年	川湯駅前小学校が川湯小学校の分校として開校・国設美羅尾スキー場開設
昭和25(1950)年	町営川湯ヌプリスキー場開設
昭和26(1951)年	町立北海道弟子屈高等学校として独立・和琴ミンミンゼミ国の天然記念物指定
昭和27(1952)年	町立北海道弟子屈高等学校の川湯分教室を川湯中に開設
昭和29(1954)年	弟子屈小学校から最栄利別校が分離し最栄利別小学校開校
昭和31(1956)年	和琴博物館開館・第3種公認町営陸上競技場完成・美留和第2小学校開校
昭和34(1959)年	町営球場完成
昭和37(1962)年	弟子屈高等学校全日制課程開設定時制昼間家庭科新設・弟子屈青年の家設置(弟子屈町ほか8町村)・町営水上競技場完成
昭和39(1964)年	北海道立弟子屈高等学校設置
昭和40(1965)年	弟子屈高等学校家政科廃止
昭和41(1966)年	弟子屈町公民館完成開館
昭和43(1968)年	弟子屈中学校増改築落成
昭和44(1969)年	和琴小学校校舎改築完成・町営スケートリンク開設(下当別・子供の広場)
昭和45(1970)年	弟子屈小学校増築落成
昭和46(1971)年	和琴中学校増改築落成・最栄利別小学校閉校(弟小に統合)・弟子屈高等学校の商業科廃止
昭和47(1972)年	札友内小学校閉校(弟小に統合)
昭和48(1973)年	弟子屈町学校給食センター操業開始・弟子屈町青少年会館落成・玉川大学農学部屈斜路実習農場設置
昭和49(1974)年	川湯小学校増築落成
昭和51(1976)年	弟子屈町役場全焼で弟子屈町公民館が役場代替施設・川湯小学校開校50周年記念式
昭和52(1977)年	更科源蔵文学碑建立除幕・木下春影句碑除幕・弟子屈小学校普通教室増築(2教室2階建)・川湯駅前小学校開校30周年記念式
昭和53(1978)年	弟子屈中学校開校30周年記念式
昭和54(1979)年	奥春別小学校特別教室増築(音楽室・美術室)・昭栄小学校開校60周年記念式

年	主な沿革
昭和55(1980)年	町民テニスコート落成・学校開放事業開始・永山在兼氏の顕彰碑除幕式・弟子屈小学校体育館増築及び改修完成・弟子屈小学校開校80周年記念式・昭栄小プール設置
昭和56(1981)年	川湯屋内温水プール落成・北海道立弟子屈高等学校開校30周年記念式
昭和57(1982)年	屈斜路コタンアイヌ民俗資料館落成・和琴小学校開校50周年記念式及び開校之碑建立・美留和小学校開校70周年記念式
昭和59(1984)年	弟子屈中学校校舎床土閣改修完成・奥春別小学校屋内体育館増改築落成・奥春別小学校80周年記念式典・弟子屈高等学校定時制課程募集停止
昭和60(1985)年	釧路圏摩周観光文化センター及び摩周運動公園落成
昭和61(1986)年	和琴中学校閉校(弟中に統合)・和琴中学校舎を和琴小学校に転用・国設美羅尾スキー場が民営化・和琴小学校体育館完成落成記念式
昭和62(1987)年	昭栄小学校改築落成・弟子屈高校定時制課程閉課・川湯小学校開校60周年記念式・川湯駅前小学校開校40周年記念式
昭和63(1988)年	北海道立弟子屈高等学校全面改築落成・昭栄小学校開校70周年記念式・美留和小学校校舎体育館完成・弟子屈町図書館開館・美留和小学校校舎・体育館落成式
平成元(1989)年	管理課に学校教育指導室設置(金行功初代室長)・美留和小学校全面改築落成・川湯屋内ゲートボール場落成
平成2(1990)年	弟子屈小学校開校90周年記念式・町文化協会創立50周年記念式・仁多小学校開校60周年記念式・町民テニスコート完成
平成3(1991)年	川湯駅前小学校閉校・更科源蔵原野樹記念碑建立
平成4(1992)年	川湯中学校全面改築落成及び開校45周年記念式・摩周ヶ丘パークゴルフ完成・町営スピードスケート場完成
平成5(1993)年	奥春別小学校校舎大規模改修完成・当別河川敷パークゴルフ場完成
平成6(1994)年	仁多小学校閉校・奥春別小学校開校90周年記念式・川湯温泉パークゴルフ場完成
平成7(1995)年	弟子屈中学校校舎大改修完成・弟子屈町図書館移転(NTT施設)
平成8(1996)年	川湯小学校全面改築落成及び開校70周年記念式・泉パークゴルフ場完成・泉ソフトボール場完成・学校法人弟子屈学園立正館幼稚園設立・学校法人弟子屈学校法人弟子屈学園立正館幼稚園を摩周丘幼稚園に改名
平成9(1997)年	川湯中学校開校50周年記式・弟子屈中学校開校50周年記念式
平成10(1998)年	弟子屈高等学校開校50周年記念式・和琴小学校トイレ簡易水洗化工事完成
平成11(1999)年	弟子屈小学校校舎及び屋体完成
平成12(2000)年	弟子屈小学校新グラウンド完成・弟子屈小学校校舎体育館落成及び開校100周年記念式
平成14(2002)年	美留和小学校開90周年記念式・和琴小学校開校70周年記念式
平成15(2003)年	行政改革で町営弟子屈プール休止・弟子屈町100周年記念・屈斜路湖マリゴケ個体簡易調査実施・川湯小学校のハルニレ北海道の保護樹木に指定
平成16(2004)年	奥春別小学校開校100周年記念式
平成18(2006)年	道教委「新しい高校教育に関する指針(素案)」に対する弟子屈高校存続に向けた要請行動を町及び町議等で実施・同存続町民署名5,145名を道教委に提出
平成19(2007)年	弟子屈町郷土資料収蔵庫「てしかがの蔵」事務所開設・更科源蔵顕彰碑「原野の樹」移転除幕式・更科源蔵文学資料館開館(釧路圏摩周観光文化センター)
平成20(2008)年	川湯屋内温水プールアスベスト除去工事で一時休館・ピラオスキー場閉鎖
平成21(2009)年	自動体外式除細動器配置・教師用パソコン・教育用パソコン・電子黒板・校用備品各種・川湯中学校屋根改修防水工事・生涯学習バス新規導入・学校給食センター各種備品購入
平成22(2010)年	公民館役場庁舎福祉センター耐震化改修・弟子屈中学校特設テニスコート設置・弟子屈中学校外構等工事・弟子屈中学校太陽光発電施設工事・鎌田ケイ子社会教育委員全国社会教育委員連合会表彰受賞
平成23(2011)年	小中学校図書大量購入・てしかがの蔵改修・図書館クラウド方式システム更新・文学資料館展示用備品購入・図書館図書大量購入・学校給食センター配送車1台購入・弟子屈中学校新校舎体育館落成記念式典祝賀会・新学校給食センター完成
平成24(2012)年	ALT2人配置・図書館電子システム更新・弟子屈町青少年会館外壁改修工事・川湯屋内温水プール妻壁面補修工事・公民館トイレ改修工事・美留和小学校開校100周年記念式典
平成25(2013)年	奥春別小学校耐震化非構造部材工事・和琴小学校耐震化非構造部材工事・スクールバス1台導入(更新/マイクロバス)・自治会及びPTAから昭栄小学校閉校要望・郷土学習副読本人物編「大鵬物語」発刊
平成26(2014)年	昭栄小学校閉校式開催(11月)・第1回公民館まつり及びミニコンサート開催・土曜授業和琴小学校で開始・「弟子屈町教育振興計画」樹立・消費税3%値上げに伴う学校給食費の値上げ・栄養教諭制度導入・川湯屋内温水プールトップライト改修工事

年	主な沿革
平成27(2015)年	昭栄小学校閉校(弟小に統合)・町内4か所チャン国史跡指定(パイラクニチャン跡クッチャノシペ第1・第2チャン跡ウランコウシチャン跡)・「弟子屈町公民館」優良公民館文部科学大臣表彰受賞・「絵本の会 おはなしはらっぱ」子ども読書活動実践団体文部科学大臣表彰受賞・美留和小学校校長住宅新築・中学校生徒及び教師用パソコン更新・川湯室内温水プール槽床シート張替工事・総合教育会議開催・「教育大綱」樹立・スクールバス新規導入・弟子屈町いじめ防止基本方針の策定
平成28(2016)年	弟子屈町公民館開館50周年及び記念事業・弟子屈高校1年生1間口・小学校児童及び教師用パソコン更新・弟子屈中学校体育館吊り天井撤去耐震化工事・川湯小学校教頭住宅新築工事・辻谷幸代社会教育委員全国社会教育委員連合会表彰受賞
平成29(2017)年	弟子屈小学校体育館屋上防水改修工事・和琴小学校煙突アスベスト除去及びライニング再生工事・川湯中学校普通教室窓改修工事・イングリッシュキャンプ事業を初めて実施・弟子屈高校1年生2間口復活・町外通学者支援事業の制定
平成30(2018)年	瀧昌之元教育委員長叙勲受章・小澤重前教育委員長地方教育行政功労者表彰受賞・教育委員会会議録のホームページ公表開始・川湯小学校と川湯中学校とで町内初の合同学校運営協議会設置・弟子屈小学校校舎屋上塔屋防水改修工事・北海道150年事業子どもたちの交流事業参加(道事業 派遣:三重県松阪市へ児童4名、引率1名)・松阪市弟子屈町小学生交流事業実施(町事業 受入:三重県松阪市小野江小児童2名、引率3名 派遣:町内小学校児童7名、引率3名)・カワユエンレイソウ学術調査実施・第1回屈斜路湖オープンウォータースイミング大会開催・桜丘森林公園クロスカントリーコース造成・川湯屋内ゲートボール場廃止・町民テニス場廃止・青少年会館廃止・川湯屋内温水プールトップライトシーリング改修工事・川湯屋内温水プール監視歩廊スラブ剥離処理ほか工事
平成31・令和元(2019)年	弟子屈小学校及び川湯小学校への放課後児童クラブ移転・弟子屈高校生を対象にした夏季・冬季長期休業期間の公営塾を開設・第2回屈斜路湖オープンウォータースイミング大会・三重県松阪市松浦武四郎記念館山本命学芸員による小学校社会科特別授業及び松浦武四郎講演会・第70回北海道女性大会兼釧路管内女性大会・北海道教育大学釧路校交響吹奏楽部弟子屈公演・図書館30周年記念講演会・川湯屋内温水プール循環ろ過系統漏水改修工事
令和2(2020)年	新型コロナウイルス感染症による臨時休校・夏季休業期間の短縮・扇風機、空気清浄機等のコロナ対策学校備品購入・GIGAスクール構想による1人1台のタブレット端末導入・美留和小学校南面屋根防水塗装工事・奥春別小学校閉校式・小林俊夫前教育長地方教育行政功労者表彰受賞・文化スポーツ各種大会中止・公民館分館制度廃止・屈斜路コタンアイヌ民族資料館名称変更・アイヌ政策推進交付金事業(資料館案内看板設置、多言語案内コード作成)・川湯温水プール地下燃料タンク改修工事・地域活動寺子屋交付金制度開始(公民館)・図書館男子トイレ改修工事
令和3(2021)年	奥春別小学校閉校(弟小に統合)・学校給食費保護者負担補助により無償化

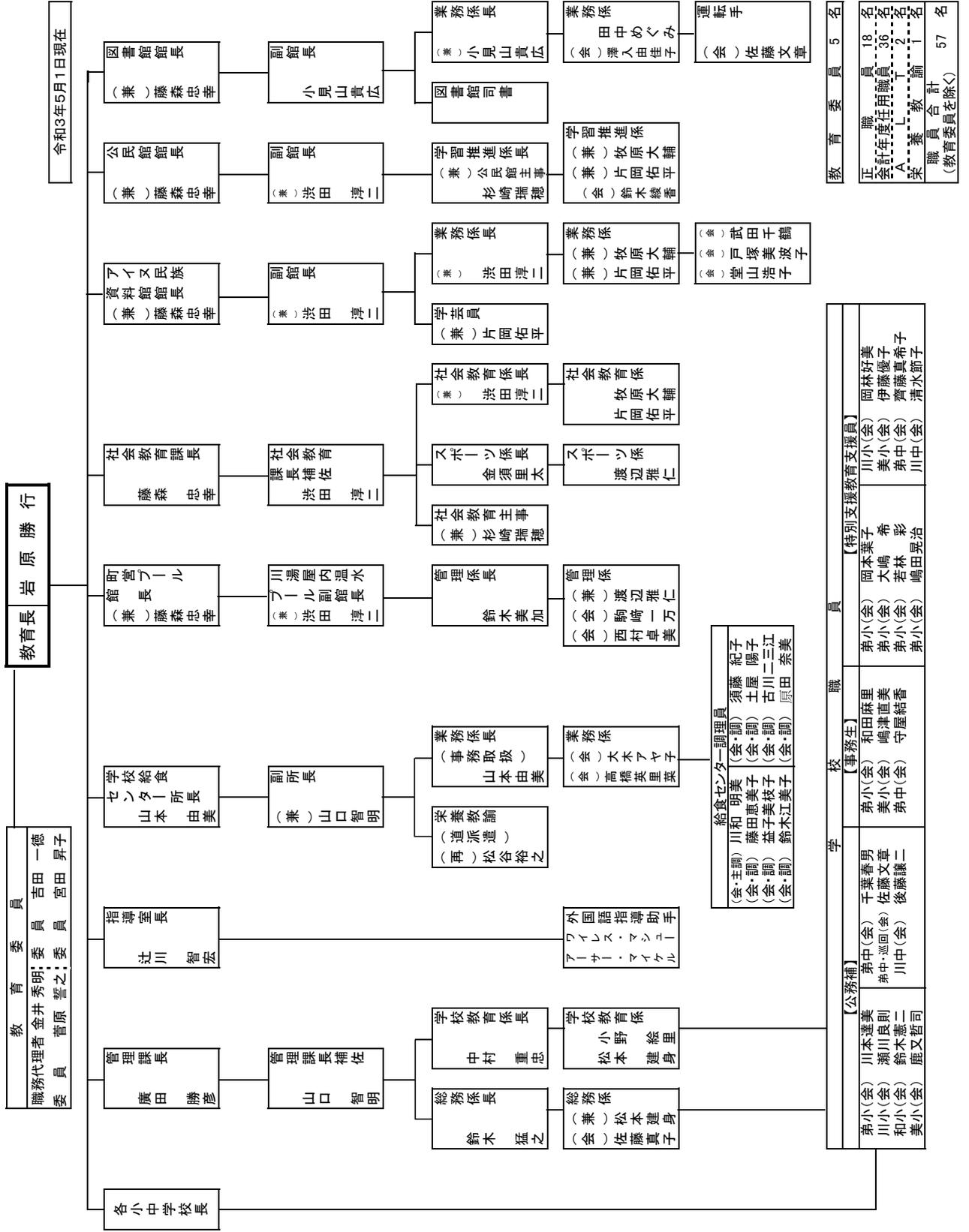
6. 弟子屈町教育委員会委員構成

役職名	氏名	性別	年齢	就任年月日	期数	現在の任期	職業	備考
教育長	岩原 勝行	男	62	令和 2年 2月 6日	1	令和 2年 2月 6日～令和 5年 2月 5日		
職務代理者	金井 秀明	男	64	平成26年10月 1日	2	平成30年10月 1日～令和 4年 9月30日	大学職員	
委員	菅原 誓之	男	47	平成21年 8月 1日	4	令和 元年11月 1日～令和 4年10月31日	僧 侶	
委員	吉田 一徳	男	43	平成29年12月17日	1	平成29年12月17日～令和 3年12月16日	農 業	
委員	宮田 昇子	女	48	令和 2年10月12日	1	令和 2年10月12日～令和 6年10月11日	無 職	

○歴代弟子屈町教育委員会教育委員 (参考資料～弟子屈町史各編等)

公選制	教育委員名	就任年月日	退任年月日	備考	教育委員名	就任年月日	退任年月日	備考
	根津 文男	昭和27年11月 1日	昭和30年 4月 8日	公選	筏井 欣一	昭和27年11月 1日	昭和30年 7月 1日	教育長
牧 藤一郎	昭和27年11月 1日	昭和31年 1月23日	公選	今泉 秀雄	昭和27年11月 1日	昭和30年11月 1日	議会	
上野卯八郎	昭和27年11月 1日	昭和31年 9月30日	公選	青木 料作	昭和28年 3月20日	昭和30年 4月30日	議会	
小森伝四郎	昭和27年11月 1日	昭和31年 9月30日	公選	根津 文男	昭和30年 5月12日	昭和31年 9月30日	議会	
青木 料作	昭和27年11月 1日	昭和31年 9月30日	(補欠)	木下 治郎	昭和30年 7月14日	昭和31年 9月30日	教育長	
任命制	柏 庄二	昭和31年10月 1日	昭和37年 1月 7日	※委員長	坪井 長治	平成 元年 2月14日	平成 9年 2月 5日	教育長
	瀧 久兵衛	昭和31年10月 1日	昭和34年 9月30日	※委員長	進士 美好	平成 2年10月 1日	平成 4年 4月30日	
菅原 安子	昭和31年10月 1日	昭和41年 9月30日	※委員長	辻谷 幸代	平成 4年 7月 1日	平成 6年 9月30日		
小森伝四郎	昭和31年10月 1日	昭和40年 9月30日	※委員長	上西 理道	平成 6年10月 1日	平成16年 5月31日		
田上 秀一	昭和31年10月 1日	昭和43年 9月30日	教育長	山下 博之	平成 9年 2月 6日	平成17年 2月 5日	教育長	
根津 文男	昭和34年10月 1日	昭和43年 6月20日	※委員長	万代 重則	平成 9年10月 1日	平成11年10月30日	委員長	
稲田 実	昭和37年 1月 8日	昭和43年 9月30日	※委員長	小澤 重	平成 9年12月17日	平成16年 9月30日		
並木 延郎	昭和40年10月 1日	昭和44年 9月30日	※委員長	小野 勝	平成11年11月 1日	平成21年 6月24日		
後藤田 勉	昭和41年10月 1日	昭和50年 1月18日	※委員長	根津 文博	平成11年11月 1日	平成16年 9月30日	委員長	
長谷 實	昭和43年 6月22日	昭和46年 9月30日		藤原 将男	平成16年 6月17日	平成26年 9月30日		
榎本 節郎	昭和43年10月 1日	昭和46年 1月26日	※委員長	小澤 重	平成16年10月 1日	平成29年12月16日	委員長	
錦織 俊介	昭和43年10月 1日	昭和47年 9月30日	教育長	榎本 悦子	平成16年10月12日	令和 2年10月11日		
瀬野 清	昭和44年10月 1日	昭和48年 9月30日		小林 俊夫	平成17年 2月 6日	令和 2年 2月 5日	教育長	
和田 淳	昭和46年 3月20日	昭和54年 3月22日		菅原 誓之	平成21年 8月 1日	現在に至る		
長谷 實	昭和46年10月 1日	昭和54年 9月30日	委員長	金井 秀明	平成26年10月 1日	現在に至る		
坂井 斉	昭和47年12月21日	昭和51年12月20日	教育長	吉田 一徳	平成29年12月17日	現在に至る		
瀧 昌之	昭和49年 7月 8日	昭和54年 9月30日		岩原 勝行	令和 2年 2月 6日	現在に至る	教育長	
富本 博	昭和50年 7月 1日	平成 2年 9月30日		宮田 昇子	令和 2年10月12日	現在に至る		
袴田 毅	昭和52年 1月28日	平成 元年 1月27日	教育長					
田口 稔	昭和54年 5月14日	昭和59年10月11日		○「※委員長」は委員任期期間中内での就任				
瀧 昌之	昭和54年10月 1日	平成 9年 9月30日	委員長					
佐々木啓祐	昭和54年11月 1日	昭和56年 1月31日						
万代 重則	昭和56年 3月17日	平成 9年 9月30日						
根津 文博	昭和59年10月12日	平成11年10月31日						

7. 弟子屈町教育委員会事務局機構図



8. 令和3年度教育行政方針（項目別主要事項）

昨年来、新型コロナウイルス感染症が全世界で広がり、私たちの暮らしや経済は一変しました。教育現場では、長期にわたる臨時休校や各種社会教育事業の中止など、今まで経験したことのない1年でした。

一方で、GIGAスクール事業により、タブレット型パソコンの一人1台の導入が前倒しされるなど、ICT（情報通信技術）教育の推進が加速された年でもありました。

本年度につきましても、新型コロナウイルス感染症への対応が長期化する中、新しい生活様式を定着させて、感染リスクを低減させることが何よりも重要となってきます。教育については、このような困難な状況であっても、その重要性・普遍性は変わりません。「学校、家庭、地域社会が連携し、ふるさとを創る人を育む」弟子屈町教育の目指す姿を原点に、児童生徒の学びの保障、デジタル社会への対応などをはじめとする学校教育と、町民誰もが生涯にわたって学び続ける社会教育を着実に推進します。

I 弟子屈町教育の計画的な振興

- 1 総合教育会議で策定される第2次弟子屈町教育大綱兼第2次弟子屈町教育推進基本計画に基づく各種事務事業の推進と計画的な振興。
- 2 教育委員コラムの発行や「移動教育委員会」の複数開催。
- 3 ホームページを活用した情報発信。
- 4 学校事業や社会教育事業への町民参加の促進。

II 学校教育の充実

- 1 中学校における新学習指導要領の全面実施に向けた教育課程の確実な実施。
- 2 釧路管内教育の重点項目の推進と、子どもたちの「生きる力」の育成。

①信頼される学校づくりの推進

- ・ホームページや学校便りなどによる情報発信の強化。
- ・町内全ての小・中学校で導入したコミュニティ・スクールの充実。
- ・弟子屈町地域学校協働本部との連携。

②学習指導の充実

- ・生涯にわたって必要な力を確実に身に付けることのできる学習指導の充実。
- ・全国学力・学習状況調査、弟子屈町学力調査などによる子どもの学習状況の把握と、学習指導の改善。
- ・弟子屈小・中学校における加配教員によるきめ細やかで丁寧な指導の実施。
- ・学校図書館の充実やICTを活用した学習活動の推進。
- ・弟子屈町メディアールの定着と、学習習慣や生活習慣の改善に向けた指導と啓発。
- ・外国語指導助手2人の派遣継続と、外国語教員の充実に向けた取り組みの推進。

③「豊かな心」を育む教育活動の充実

- ・道徳教育を通じた自他の生命を尊重する心、思いやりの心と、望ましい人間関係を築く力を育むことによるいじめ、不登校の未然防止と早期対応。
- ・弟子屈町いじめ防止基本方針による、いじめ撲滅サミットやアンケート調査などの実施。
- ・スクールカウンセラーなどによる児童生徒の悩みへの対応。

④社会の変化に対応する教育の推進

- ・各学校での特色ある取り組みへの支援。
- ・地域人材を活用する「ふるさと学習」の実施。
- ・企業見学・職業体験活動・インターンシップを中核とした「キャリア教育」の充実。
- ・玉川学園の協力による、イングリッシュ・キャンプの実施。
- ・北海道教育大学との相互協力による、教育実習とへき地校体験実習の受け入れ。
- ・「弟子屈町立学校における『働き方改革』行動計画」の推進。

⑤特別支援教育の充実

- ・個別の指導計画や支援計画による、合理的配慮の提供に向けた体制整備。
- ・弟子屈町特別支援教育推進会議による担当教員の専門性の向上。
- ・弟子屈町こども発達支援センターなどの関係機関との連携強化。
- ・特別支援教育支援員の1人増員と、支援体制の充実。

⑥健康や安全に関する指導の充実

- ・小・中学校全学年での「新体力テスト」の実施と、「体力づくりのための1校1実践」の推進。
- ・各学校における体育授業の充実や、運動に親しむ活動の支援。
- ・小中高校生を対象とした思春期講座の実施。
- ・「子どもサポート隊」や「子ども110番の家」との連携、通学路の安全確保と通学指導の推進。
- ・地域や関係機関と連携した「1日防災学校」などの実践的な防災訓練の開催と安全教育の充実。

⑦教員の資質向上

- ・町教育研究所における研修事業の推進。
- ・各学校における自主公開研究会の継続開催。
- ・玉川大学との連携による教員の英語指導力向上。
- ・関係機関との連携によるICT活用などの研修の実施。

⑧就学児童生徒保護者への支援

- ・全ての児童生徒に対する、学校給食の無償提供の実施。
- ・オンライン学習通信費の支援を追加するなど就学援助の拡充。
- ・インターネット環境のない家庭へのモバイルルーターの無償貸し出しの実施

⑨幼児教育の充実

- ・認定こども園ましゅうへの外国語指導助手の派遣や小学校との学習連携の実施。

⑩高等学校教育支援などの充実

- ・進学を目指す生徒を対象とした「公営塾」の通年開設の継続。
- ・ふるさと学習「弟子屈探究」や弟子屈高校の伝統行事である「強歩遠足」など、学習活動や文化・スポーツ、通学に対する支援の継続。
- ・中学校との授業や部活動の相互交流の推進と中高の繋がりによる地元進学率の向上。

⑪小中高等学校連携の促進

- ・小中高連携校長会議・連携教頭会議、教務主任を対象とした小中高連携会議による教育課題の適切な対応。
- ・英語教育の体系化に向けた小中高等学校教員間の連携の推進。
- ・支援が必要な子どもたちへの適切な対応に向けた、幼保小中高の担当者間の連携推進。

⑫教育環境の整備・充実

- ・小・中学校での、タブレットを活用した学習活動の推進。
- ・デジタル教科書実証事業への参加。
- ・感染症対策で整備した備品などの有効活用。

⑬学校給食の充実

- ・衛生・安全管理の徹底と調理技術などの向上。
- ・地場産品の積極的な活用の推進。
- ・季節ごとの旬の食材などを生かした献立や行事食の提供。
- ・栄養教諭の食育指導などによる食に対する理解と望ましい食習慣の育成。

Ⅲ 社会教育活動の推進

- 1 新型コロナウイルス感染症の影響により新しい生活スタイルが求められる中、第7次弟子屈町社会教育中期計画の検証を行い「人づくり・つながりづくり・地域づくり」の実現に向けた次期計画を策定。

①生涯学習事業の充実と社会教育の振興

- ・「いつでも、どこでも、だれでも」自由に学ぶことができ、そこで身につけた学習成果を地域づくりへ生かす「循環型生涯学習社会」の構築。
- ・幅広い地域住民の参加による、地域と学校がパートナーとして連携して活動する「地域学校協働活動」の推進。
- ・弟子屈高校による「地域貢献活動」への支援。
- ・成年年齢の引き下げに伴い、従来の成人式に代わる「二十歳のつどい」を当該年度に20歳に達する方を対象に開催。
- ・さまざまな学習活動を通して、高齢者が楽しく潤いのある生活が送れるよう「生きがい学級」を開設。

②公民館、図書館活動の充実

- ・地域の人材を活用した斬新で魅力的な学習事業の実施。
- ・公民館利用者のニーズに合わせた開館時間の見直し。
- ・「公民館ミニコンサート」や「公民館ロビー展」など、活動の成果を発表する機会の提供。
- ・図書館の蔵書の充実と、インターネットによる蔵書検索や予約、図書館バスの運行など各種サービスの充実。
- ・ボランティアとの協働による読み聞かせ、「第3次弟子屈町子ども読書活動推進計画」の着実な実行など、子どもが読書を楽しめる環境づくりの推進。
- ・図書館企画展示の充実や読書活動講演会をはじめとする諸行事の開催。

③芸術文化活動への支援と振興

- ・弟子屈町文化協会の活動や、弟子屈町総合文化祭への支援の継続。
- ・芸術鑑賞バス運行事業の継続による優れた芸術文化に触れる機会の提供。
- ・町内小中高校生を対象に、日本フィルハーモニーによる芸術鑑賞事業を実施。
- ・文化振興助成制度による全道・全国大会への参加支援の継続。
- ・郷土芸能である鑑別・仁多の獅子舞や川湯ばやしの保存活動に対する支援。

④文化財保護などの活動推進

- ・町指定天然記念物である「屈斜路湖マリゴケ」の現状把握と保全、活用方策を検討するため、玉川大学の協力のもと植生調査を実施。
- ・屈斜路コタンアイヌ民族資料館のさらなる施設の利用促進、魅力向上に向けた改修事業の検討。
- ・「アイヌ文化でつながる博物館等ネットワーク」に参加し、関連施設との連携事業を実施。
- ・てしかが郷土研究会との協働により集約作業を進めている郷土資料の一部を文化センター更科源蔵文学資料館で一体的に展示し、残る資料の適正管理を年次計画により段階的に実施。

⑤スポーツ活動の推進

- ・弟子屈町スポーツ協会、スポーツ少年団など各団体への支援。
- ・各種スポーツ教室や、学校施設開放事業によるスポーツに親しむ機会の充実。
- ・スポーツ振興助成制度継続により全道・全国大会への出場を支援。
- ・大学駅伝部などスポーツ合宿受け入れ・誘致活動への支援。

⑥社会教育施設などの充実

- ・「中心市街地再構築全体構想」による、図書館とプールなどの移転整備の推進。
- ・町営野球場・公民館トイレの改修、パークゴルフ場施設・設備の改修と更新。
- ・日常点検の励行による社会教育・体育施設の適切な維持管理。

昨年からのコロナ禍で、先行きの不透明な状況が続き、本方針でお示しした内容も今後見直さざるを得ないこともあろうかとは思いますが、どのような状況にあっても町の未来を担う子どもたちが夢と希望を持って学びを続けられるよう、また、全ての町民の皆さんが健康で生きがいのある充実した生活を送ることができるよう、全力で取り組んでいきます。

9. 学校教育施設（1）

弟子屈小学校

所在地 弟子屈町中央2丁目265番地1
 創立 明治33年7月1日
 校長名 大西 展史、教職員数19人

教育目標 新世紀に輝く弟子屈の子
 明るくたくましい子
 よく考える子
 心のやさしい子



学級数 普通6、特別支援5（知的・情緒3・言語）

児童数

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
普通	30	26	32	26	32	26	172
特別支援	3	3	4	4	7	3	24
計	33	29	36	30	39	29	196

校地面積 23,241 m²、校舎面積 4,612 m²、屋体面積 1,256 m²

川湯小学校

所在地 弟子屈町川湯温泉4丁目72番地1
 創立 昭和2年2月2日
 校長名 中岡 美緒、教職員数9人

教育目標 児童の創造性を開発し、自己を変革していける
 子どもを育てる
 ・意欲的で、実行力のある子どもを育成する
 ・自主性に富み、知性の高い子どもを育成する
 ・心身共に健康で、思いやりのある子どもを育成する
 ・責任感の強い、進んで働く子どもを育成する



学級数 普通4、特別支援2（情緒・知的）

児童数

区分	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
普通	5	8	6	6	11	1	37
特別支援				1			1
計	5	8	6	7	11	1	38

校地面積 43,345 m²、校舎面積 1,601 m²、屋体面積 710 m²（渡り廊下含む）

学校教育施設（２）

和琴小学校

所在地 弟子屈町字屈斜路 2 6 0 番地 1
 創 立 昭和 7 年 6 月 2 2 日
 校長名 渥美 清孝、教職員数 8 人



教育目標 よく考え正しく判断のできる子 【知】
 強い心と体でやりぬく子 【体】
 優しい心で助け合う子 【徳】

学級数 普通 3、特別支援 2（情緒・知的）

児童数

区 分	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
普 通	1	1		1	1	1	5
特別支援				1		1	2
計	1	1		2	1	2	7

校地面積 25,328 m²、校舎面積 1,064 m²、屋体面積 575 m²（渡り廊下含む）

美留和小学校

所在地 弟子屈町字美留和 8 2 番地 1
 創 立 大正元年 1 0 月 1 日
 校長名 松田 芳臣、教職員数 4 人



教育目標 よく考える子ども（学び）
 助け合う子ども（豊かな心）
 がんばりぬく子ども（強い心）
 進んで仕事をする子ども（意欲的な心）
 強い体の子ども

学級数 普通 2、特別支援 1（情緒）

児童数

区 分	1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	計
普 通	1		2		1	2	6
特別支援					2		2
計	1		2		3	2	8

校地面積 31,090 m²、校舎面積 749 m²、屋体面積 534 m²（渡り廊下含む）

学校教育施設（3）

弟子屈中学校

所在地 弟子屈町美里1丁目135番地2
 創立 昭和22年5月4日
 校長名 成瀬 剛慈、教職員数20人



教育目標 生活の向上に役立つ学力を身につけよう
 人と自然を思いやる心を持つ
 強い身体と正しい心で結びあおう

学級数 普通 6、特別支援 4（知的・情緒2・視覚）

生徒数

区分	1年	2年	3年	計
普通	45	41	42	128
特別支援	7	3	1	11
計	52	44	43	139

校地面積 46,029 m²、校舎面積 3,838 m²、屋体面積 1,093 m²

川湯中学校

所在地 弟子屈町川湯温泉7丁目74番地1
 創立 昭和22年5月20日
 校長名 藤田 崇充、教職員数12人



教育目標 知性に富み、自主性をもつ人
 豊かな情操と創造性をもつ人
 健康で強い意志をもつ人
 協調と責任を重んずる人

学級数 普通 3、特別支援 1（情緒）

生徒数

区分	1年	2年	3年	計
普通	11	5	5	21
特別支援	4			4
計	15	5	5	25

校地面積 41,826 m²、校舎面積 1,600 m²、屋体面積 742 m²（渡り廊下含む）

学校教育施設（４）

弟子屈町学校給食センター

所在地 弟子屈町美里 1 丁目 1 3 6 番地 1

施設概要 延床面積 755.62 m²（R C 構造） ※弟子屈中学校併設

給食供給能力 1 日当たり 800 食

雪氷冷熱システム採用（夏期間室内冷房用）

開 設 旧施設～昭和 47 年 12 月完成 昭和 48 年 1 月供用開始

現施設～平成 23 年 12 月完成 平成 24 年 4 月供用開始

給食供給先 町立小学校 4 校 町立中学校 2 校 （約 500 食）

年間給食費 小学校 44,850 円/人（1 食 230 円）、中学校 53,625 円/人（1 食 275 円）



北海道立高等学校・学校法人こども園

北海道弟子屈高等学校

所在地 弟子屈町高栄3丁目3番20号
 創立 昭和23年10月30日
 校長名 濱村 隆康、教職員数16人



校訓 自彊不息（じきょうしてやまず）
 教育目標 郷土を愛したくましく生きよう
 自ら学ぶ意欲を持ちつづけよう

学級数 普通 3

生徒数

区分	1年	2年	3年	計
普通	23	26	26	75
特別支援				
計	23	26	26	75

校地面積 41,465 m²、校舎面積 1,802 m²、屋体面積 891 m²

学校法人弟子屈学園

幼保連携型認定こども園ましゅう

所在地 弟子屈町泉1丁目11番1号
 創立 平成31年4月1日
 園長名 鈴木 幸栄、教職員数29人（園長含む）
 園目標 (1)げんきで じょうぶな たくましい子
 (2)やさしく ゆたかな ころもつ子
 (3)さいごまで やりぬく ねばりづよい子



学級数 6学級

園児数

区分	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
園児	4	9	16	33	20	32	114

園地面積 5,609.49 m²、延床面積 1,128.06 m²

10. 社会教育施設（1）

弟子屈町公民館

所在地 弟子屈町中央2丁目286番地1

開館 昭和41年10月19日

施設概要 建物延面積 908.36 m²

1階 事務室・研修室・会議室・和室

2階 講堂

主要事業等 日フィルアンサンブルコンサート

公民館ミニコンサート

生きがい講座



利用実績等	H30	R1	R2
利用者数	19,623人	18,286人	14,297人

[弟子屈町図書館]

所在地 弟子屈町中央2丁目290番地

※敷地と建物はNTT東日本から借用

開館 平成元年4月1日

(移転：平成7年3月1日)

施設概要 建物延面積 407.50 m²

図書館バス運行1台

主要大会等 読書活動講演会



利用実績等	H30	R1	R2
一般図書・児童図書 蔵書数	60,603冊	61,880冊	58,164冊
貸出冊数	39,188冊	35,279冊	30,861冊
うち図書館バス	7,596冊	5,808冊	2,861冊
登録者数	5,205人	5,326人	5,395人

社会教育施設（２）

[屈斜路コタンアイヌ民族資料館]

所在地 弟子屈町字屈斜路市街1条通14番地

開館 昭和57年6月6日

施設概要 建物延面積 402.47 m²
アイヌ民族資料展示・映像紹介等
常設展示 450点



主要事業等 資料館講座

利用実績等	H30	R1	R2
利用者数	5,402人	7,609人	3,159人

[更科源藏文学資料館]

所在地 弟子屈町摩周3丁目867番地1
釧路圏摩周観光文化センター内

開設 平成19年4月1日

施設概要 延床面積 330.2 m²
更科源藏文学資料展示
収蔵資料 6,140点
(図書 1,824点、その他 4,316点)



利用実績等	H30	R1	R2
利用者数	419人	702人	265人

社会教育施設（3）

[郷土資料収蔵庫てしかがの蔵事務所]

所在地 弟子屈町中央1丁目13番地1

開設 平成19年4月1日

施設概要 建物延面積 755.73 m²
 (1階 425.25 m² 2階 330.48 m²)
 郷土資料収蔵 4,146 点
 (郷土資料・種市佐改氏資料
 ・永田洋平氏資料・写真館等)



利用実績等	H30	R1	R2
利用者数	252 人	207 人	71 人

※現在、更科源蔵文学資料館へ収蔵品を移設作業中

[弟子屈町修武館]

所在地 弟子屈町高栄2丁目123番地4

開設 昭和53年11月14日

施設概要 建物延床面積 519.40 m²
 柔道・剣道・空手



利用実績等	H30	R1	R2
利用者数	3,300 人	3,374 人	2,004 人

社会教育施設（４）

[弟子屈町営野球場]

所在地 弟子屈町美里2丁目142番25

開設 昭和34年10月30日

施設概要 面積 10,432.00 m²

左翼 83.5m

右翼 84.5m

中堅 115.0m



主要大会等 宇津木妙子CUP道東地区選抜野球弟子屈大会

利用実績等	H30	R1	R2
利用者数	2,195人	2,203人	695人

[川湯屋内温水プール]

所在地 弟子屈町川湯温泉3丁目305番地

開設 昭和55年3月31日

施設概要 建物延面積 1,473.51 m²

一般コース 25m×13m 6コース、

水深 1.1m~1.3m

幼児プール 18.75×4m

水深 0.6m



主要大会等 第31回弟子屈町民水泳競技大会兼記録会

利用実績等	H30	R1	R2
利用者数	10,153人	8,582人	5,195人

社会教育施設（５）

[弟子屈町営スピードスケート場]

所在地 弟子屈町摩周4丁目867番2

開設 平成4年12月5日

施設概要 敷地面積 20,000.00 m²
一周 400mリンク、夜間照明設備
散水設備



主要大会等 弟子屈町小学生スピード
スケート記録会

利用実績等	H30	R1	R2
利用者数	1,566人	1,274人	1,970人

[桜ヶ丘歩くスキーコース]

所在地 弟子屈町桜丘2丁目61番1

開設 平成8年12月15日

施設概要 750mコース 3,000mコース
6,000mコース



その他 平成30年度に、コースの一部を利用し、
クロスカントリーコースを造成（1周2.1km）
（合宿チーム：東京国際大学、コニカミノルタ）

利用実績等	H30	R1	R2
利用者数	218人	130人	137人

社会教育施設（6）

[鑑別川河川敷パークゴルフ場]

所在地 弟子屈町泉1丁目 河川敷

開設 平成5年8月19日

施設概要 ホール数 36H、距離 1,360m



利用実績等	H30	R1	R2
利用者数	2,238人	2,142人	1,755人

[900草原パークゴルフ場]

所在地 弟子屈町字弟子屈418番地127

開設 平成9年5月13日

施設概要 ホール数 36H、距離 1,864m



利用実績等	H30	R1	R2
利用者数	7,034人	8,196人	3,612人

社会教育施設（7）

[川湯温泉パークゴルフ場]

所在地 弟子屈町川湯温泉4丁目70

開設 平成6年8月25日

施設概要 ホール数 18H、距離 851m



利用実績等	H30	R1	R2
利用者数	3,946人	3,877人	4,210人

[川湯駅前パークゴルフ場]

所在地 弟子屈町川湯駅前2丁目25番地1

開設 平成9年8月

施設概要 ホール数 18H、距離 770m



利用実績等	H30	R1	R2
利用者数	1,117人	1,362人	777人

社会教育施設（８）

[美留和パークゴルフ場]

所在地 弟子屈町字美留和 8 4 番地 5

開設 平成 8 年 5 月 1 5 日

施設概要 ホール数 1 8 H、距離 950m



利用実績等	H 3 0	R 1	R 2
利用者数	223 人	340 人	269 人

[屈斜路パークゴルフ場]

所在地 弟子屈町字屈斜路 2 2 8 番地 4

開設 平成 1 3 年 5 月

施設概要 ホール数 1 8 H、距離 826m



利用実績等	H 3 0	R 1	R 2
利用者数	1, 662 人	1, 555 人	928 人

社会教育施設（9）

[奥春別パークゴルフ場]

所在地 弟子屈町字鑑別272番地6

開設 平成10年8月11日

施設概要 ホール数 36H、距離 1,615m



利用実績等	H30	R1	R2
利用者数	1,427人	1,565人	1,054人

1 1. 教育予算

(1) 令和3年度の一般会計当初予算

単位：千円、%

会 計 名		令和3年度	令和2年度	前年度比
一 般 会 計		12,491,000	8,486,000	47.20
特 別 ・ 企 業 会 計	国民健康保険特別会計	979,273	1,020,423	-4.03
	介護保険特別会計	968,641	917,943	5.52
	後期高齢者医療特別会計	141,035	130,551	8.03
	温泉事業特別会計	73,758	71,824	2.69
	下水道事業特別会計	440,579	423,021	4.15
	水道事業会計	295,809	311,255	-4.96
	計	2,899,095	2,875,017	0.84
合 計		15,390,095	11,361,017	35.46

(2) 教育予算の推移

単位：千円、%

	一般会計	前年度比	教育費	前年度比	構成比
平成25年度	7,067,000		526,357		7.45
平成26年度	10,380,000	46.88	547,943	4.10	5.28
平成27年度	7,713,000	-25.69	540,340	-1.39	7.01
平成28年度	7,775,000	0.80	541,612	0.24	6.97
平成29年度	7,281,000	-6.35	520,149	-3.96	7.14
平成30年度	7,837,000	7.64	512,550	-1.46	6.54
平成31年度	7,835,000	-0.03	511,555	-0.19	6.53
令和2年度	8,486,000	8.31	574,139	12.23	6.77
令和3年度	12,491,000	47.20	588,488	2.50	4.71

Ⅲ. 令和3年度の各施策と実施する主な事務事業

主な事務事業を第5次弟子屈町総合計画の区分ごとに記載しています。

4 育 豊かな心を育て、文化を大切にすまちづくりを進めます

まちづくりの柱1 学校教育の充実

施策 1. 義務教育環境の充実

予 算 額	財 源 内 訳			
	国・道支出金	町 債	その他	一般財源
26,739.0	31.3	0.0	3,576.9	23,130.8

(単位:万円)

〈重点事業 【新規】給食費無償化事業〉	
予 算 額	1,525.9 担当課 学校給食センター
内 容	学校給食費の無償化により保護者の経済的負担を軽減し、安心して子育てできるまちづくりを進める。
成 果 ・ 効 果	子育て世帯への支援が手厚い町としての魅力向上につながる。

施策内の事務事業	予算額	主な実施内容	担当課
小・中学校管理	7,882.2	町内4小学校、町内2中学校の管理費	教委管理課
学校用バス運行	4,788.1	スクールバス運行、学校行事用臨時バス運行	教委管理課
小・中学校義務教育支援	1,266.5	学力検査等の費用、学校教材、図書購入、ふるさと教育、心の教室ほか	教委管理課
小・中学校施設改修	1,101.4	川湯小学校渡り廊下・取合部改修工事、川湯中学校音響機器改修工事ほか	教委管理課
小・中学校父母負担軽減	124.1	新1年生への鍵盤ハーモニカ、防犯ブザーの贈呈 学用品の負担軽減ほか	教委管理課
その他の事務事業	10,050.8	教職員住宅管理、学校給食センター管理運営、小学校プラスバンドへの補助ほか	

施策 2. 高等教育支援等の充実

予 算 額	財 源 内 訳			
	国・道支出金	町 債	その他	一般財源
2,856.2	0.0	0.0	2,830.3	25.9

(単位:万円)

〈重点事業 【継続】公設塾運営事業〉	
予 算 額	2,465.4 担当課 教育委員会管理課
内 容	弟子屈高校の生徒を対象に、通年で学習塾を開設する
成 果 ・ 効 果	学力向上を図ることと地元高校卒業後の進路選択の幅が拡大され、人材育成と高校の魅力向上により、弟子屈高校への進学者の増加につながる。また、弟子屈高校の存続と地域の活性化、父母負担の軽減が図られる

施策内の事務事業	予算額	主な実施内容	担当課
高等学校活動支援	386.3	魅力ある弟子屈高校づくりや、大学進学、就職取り組み、修学旅行支援ほか	教委管理課
奨学金	4.5	奨学金の貸付、償還事務(基金積み立て)	教委管理課

施策 4. まなびの向上

予 算 額	財 源 内 訳			
	国・道支出金	町 債	その他	一般財源
1,319.2	0.0	0.0	134.4	1,184.8

(単位:万円)

施策内の事務事業	予算額	主な実施内容	担当課
語学指導助手招致	1,138.2	外国語(英語)指導助手2人の報酬ほか	教委管理課
児童生徒学力指導	88.4	玉川大学との英語力向上連携ほか	教委管理課
その他の事務事業	92.6	教育研究所運営ほか	教委管理課

まちづくりの柱2 社会教育活動の推進

施策 1. 社会教育活動の推進

予 算 額	財 源 内 訳			
	国・道支出金	町 債	その他	一般財源
3,664.1	31.8	290.0	397.2	2,945.1
(単位:万円)				
施策内の事務事業	予算額	主な実施内容		担当課
図書館管理運営	1,481.4	図書館の運営、図書館バスの運行、読書活動推進事業		図書館
公民館管理運営	1,465.5	公民館管理運営、公民館事業ほか		公民館
生涯学習推進	639.6	生涯学習講演会の実施、学びの機会や環境の整備、生涯学習バスの運行		社会教育課
その他の事務事業	77.6	社会教育活動一般ほか		社会教育課

まちづくりの柱3 文化・スポーツ活動の推進

施策 1. 地域文化の振興

予 算 額	財 源 内 訳			
	国・道支出金	町 債	その他	一般財源
915.2	0.0	0.0	457.9	457.3
(単位:万円)				
施策内の事務事業	予算額	主な実施内容		担当課
芸術文化活動	130.1	芸術鑑賞機会の確保、芸術関係団体への補助		社会教育課
文化財保護活動	66.9	文化財保護、団体補助		社会教育課
その他の事務事業	708.4	アイヌ民族資料館の管理、縄文文化振興ほか		社会教育課

施策 2. スポーツ活動の推進

予 算 額	財 源 内 訳			
	国・道支出金	町 債	その他	一般財源
7,137.2	0.0	1,850.0	1,972.9	3,314.3
(単位:万円)				
《重点事業 【新規】町営野球場改修事業》				
予 算 額	3,174.6	担当課 教育委員会社会教育課		
内 容	供用開始後61年が経過し、施設の老朽化が顕著であるため、フェンスやバックスクリーン等の改修を行う			
成 果 ・ 効 果	施設改修により利用者の利便性や安全性が向上し、地域スポーツの推進が図られる			
施策内の事務事業	予算額	主な実施内容		担当課
スポーツ活動推進	264.2	スポーツ賞の贈呈、スポーツ教室、学校開放事業		社会教育課
スポーツ振興助成	230.0	全道・全国大会に出場する町民に経費の一部を助成		社会教育課
スポーツ合宿誘致	149.4	駅伝、サイクリングなど大学・社会人チームの合宿誘致		社会教育課
その他の事務事業	3,319.0	スポーツ大会の運営と支援、体育施設管理、パークゴルフ場管理、町営プール運営ほか		社会教育課

5 人 まちづくりに興味と関心を持ち、行動する人を育てる仕組みを作ります

まちづくりの柱2 まちづくりを支えるネットワークの形成・交流活動支援

施策 2. 活発な地域間交流

予 算 額	財 源 内 訳			
	国・道支出金	町 債	その他	一般財源
100.0	0.0	0.0	100.0	0.0
(単位:万円)				
施策内の事務事業	予算額	主な実施内容		担当課
姉妹都市中学生交流	100.0	鹿児島県日置市への中学生訪問		教委管理課

6 公 誰でもまちづくりに参加することができる場や体制を作ります

まちづくりの柱1 ともに汗をかき進めるまちづくり

施策 2. 町民が平等に参加する社会づくり

予 算 額	財 源 内 訳			
	国・道支出金	町 債	その他	一般財源
4.0	0.0	0.0	0.0	4.0
(単位:万円)				
施策内の事務事業	予算額	主な実施内容		担当課
女性活動	4.0	女性団体協議会の活動支援		社会教育課

令和3年度教育委員会重点予算

(単位：千円)

項	目	事業名	主な事業	予算額	内容	備考
教育総務費	事務局費	003 教育振興一般	教育振興一般	1,973	幼保小中高連携事業実行委員会費用弁償、学校ICT支援業務、管内教育支援委員会等 各団体負担金ほか	新規=学校ICT
		004 児童生徒生活指導	児童生徒指導活動事業	60	生指導連絡協議会の交付金	
		005 児童生徒学力指導	児童生徒学力指導事業	884	中体連ほか負担金、教育研究指定校、学力向上研修事業、英語力向上連携事業ほか交付金	
		006 学校用バス運行	スクールバス運行事業	47,881	スクールバス運行業務(美留和・奥春別・南弟子屈・仁多原野・和琴・川湯駅前・川湯)、運行補助業務(悪天候時の補助員乗車)、行事バス	
		007 姉妹都市中学生交流	姉妹都市中学生交流事業	1,000	姉妹都市中学生交流事業補助(派遣)	
		008 高等学校活動支援	弟子屈高等学校活動支援事業	3,863	高校通学費補助金、学校行事支援事業補助金(強歩遠足、弟子屈探究、修学旅行費支援ほか)	新規=修学旅行
			公設塾設置運営事業	24,654	公設民営塾の委託(通年開催)	
	010 コミュニティスクール運営	コミュニティスクール運営事業	469	委員報酬、費用弁償	科目を独立	
	財産管理費	001 教職員住宅管理	教職員住宅管理	1,346	住宅修繕ほか	
	学校保健費	001 児童生徒教職員保健業務	児童生徒保健業務、教職員保健業務	3,159	学校医他報酬、教職員健康診断業務委託料、児童生徒健康診断業務委託料、思春期講座 ほか	
教育研究所費	001 教育研究所運営	教育研究所運営事業	866	教育研究所交付金、運営委員報酬		
小学校費	学校管理費	001 小学校管理	小学校管理運営	45,779	町内小学校4校に係る施設・設備維持管理、備品購入、消耗品、事務生・公務補 ほか	奥小閉校
		002 小学校施設改修	学校施設改修事業	9,010	遊具等点検修理業務、川小雨漏り改修工事、旧奥小遊具移設工事、和小体育館屋根修繕	新規=各工事等
	教育振興費	001 小学校義務教育支援	教育支援事業	3,691	標準学力調査、学校学級適応調査、学習テスト等教材、児童用新聞、学校図書、教材備品ほか	減額=児童用PC償還、指導書ほか
			ふるさと教育	100	ふるさと教育講師報償費	
			特別支援教育	21,106	支援員(6人)、特学用教材、就学奨励費	支援員1名増員
	002 小学校父母負担軽減	父母負担軽減事業	805	新入学児童祝品(鍵盤ハーモニカ、防犯ブザー)、教材費等の父母負担軽減(2,100円/人)		
003 要保護準要保護児童援助	要保護準要保護児童支援事業	5,906	要保護1人・準要保護児童66人見込。新入学用品費の前倒し、PTA会費、卒業アルバム代等			
中学校費	学校管理費	001 中学校管理	中学校管理運営	33,043	町内中学校2校に係る施設・設備維持管理、備品購入、消耗品、事務生・公務補 ほか	
		003 中学校施設改修	学校施設改修事業	2,004	川中暖房設備、音響機器改修工事ほか	新規=工事
	教育振興費	001 中学校義務教育支援	義務教育支援一般	5,030	標準学力調査、学校学級適応調査、学習テスト等教材、生徒用新聞、学校図書、教材備品、中学校指導ほか	増額=指導書、減額=PC償還ほか
			ふるさと教育	149	ふるさと教育報償費、摩周焼き体験学習	
			心の教室	774	相談員報酬、費用弁償	
			特別支援教育	8,968	支援員(2人)、就学奨励費	
	002 中学校父母負担軽減	父母負担軽減事業	436	教材費等の父母負担軽減(2,100円/人)ほか		
003 要保護準要保護生徒援助	要保護準要保護生徒支援事業	6,841	要保護0人・準要保護生徒45人見込み。新入学用品費の前倒し、PTA会費・生徒会費・クラブ費等			

令和3年度 教育委員会重点予算

(単位：千円)

項	目	事業名	主な事業	予算額	内 容	備考		
社会教育費	社会教育総務費	002	生涯学習推進	生涯学習講演会	250	講師(釧P連・女性のつどい)	拡充	
				生涯学習バス運行	5,920	運行業務委託、感染対策シールド設置	一部新規	
		003	芸術文化活動	芸術鑑賞	546	小中高合同芸術鑑賞事業、幼児芸術鑑賞会	拡充	
				文化振興助成	200	全道全国大会出場助成		
				文化芸術団体活動	50	川湯ばやし保存会 (活動補助)		
		005	人材育成	弟子屈町PTA連合会補助	120	弟子屈町連合父母と先生の会		
				青少年健全育成	少年の主張弟子屈大会	63		
					海の子山の子ふるさと交流事業(白糠・弟子屈)	7		
					子ども映画会	10		
		おこと教室	15					
		てしかが子どもクラブ	133					
		青少年健全育成(未来こども協議会)事業	200					
007	学校支援地域本部	教育支援活動	地域学校協働本部・家庭教育冊子ほか	478				
			001	公民館管理運営	弟子屈町民大 学校 外	699	各種主催講座	
					001	文化財保護活動	郷土芸能保存	260
保健体育費	保健体育総務費	001	スポーツ活動推進	文化・スポーツ少年団活動			600	文化・スポーツ少年団 16団体
				町民スポーツ普及活動	571	スポーツ協会 20団体		
				少年スポーツ教室支援	少年野球教室(年2回)	400	200	
					少年サッカー教室		100	
					陸上教室		100	
		学校施設開放	249	学校開放事業(4校)開放主事・管理人				
		002	スポーツ大会の運営と支援	スポーツ大会等	282	道東野球大会、美羅尾山ろく完走マラソン大会他		
		004	スポーツ振興助成	スポーツ振興助成	2,300	全道全国大会出場助成 ※人数、回数、日数拡充	拡充	
		001	体育施設管理運営	施設管理運営	町営球場(改修含む)	44,205	31,972	拡充
					修武館		1,860	
		町営スピードスケート場		2,052				
		桜ヶ丘歩くスキーコース		148				
		桜ヶ丘クロスカントリーコース整備		66				
		パークゴルフ場		8,107	拡充			
社会教育費	図書館管理費	001	図書館管理運営	図書購入費	2,237	一般図書、児童書、新聞雑誌類		
				子ども読書活動推進	110	読書講演会、読書感想文コンクール 外		
				移動図書館	922	図書館バスの運行		
				図書館システム	1,180	図書館システム導入償還金		
				学校図書館連携	507	学校図書館システム使用料		
保健体育費	給食センター費	001	給食センター	学校給食センター管理運営	管理運営費	68,920	46,617	
					給食配送運行業務		6,840	
					電気貯湯槽清掃点検業務		204	
					学校給食費補助金		15,259	

12. 児童・生徒数の変遷(平成元年～令和3年)

年度	小 学 校									中 学 校			小中	高 校	幼稚園
	弟子屈	川 湯	和 琴	美留和	川 湯 駅 前	奥春別	昭 栄	仁 多	計	弟子屈	川 湯	計	合計	道立弟子 屈高校	学法摩周 丘幼稚園
元	663	148	38	23	14	23	15	14	938	412	93	505	1,443	361	
2	636	130	30	23	11	26	13	11	880	415	83	498	1,378	361	
3	601	124	32	26	H3閉校	24	9	9	825	390	74	464	1,289	366	
4	538	111	31	34	—	23	11	10	758	397	72	426	1,227	352	
5	530	103	29	34	—	19	12	5	792	362	64	425	1,158	334	
6	488	91	22	37	—	18	9	H6閉校	665	353	72	394	1,090	301	
7	463	77	23	38	—	16	10	—	627	334	72	406	1,033	303	新学校法 人設置
8	431	83	25	34	—	14	10	—	597	332	62	394	991	289	69
9	419	81	21	29	—	13	10	—	573	310	49	359	932	296	62
10	418	88	20	24	—	15	12	—	577	279	34	313	890	278	61
11	397	86	19	22	—	16	14	—	554	257	35	292	846	281	76
12	376	81	22	15	—	16	13	—	523	240	42	282	805	259	93
13	368	66	21	10	—	20	16	—	501	238	40	278	779	229	100
14	367	62	20	11	—	19	14	—	493	224	43	267	760	209	105
15	349	64	20	12	—	19	14	—	478	223	36	259	737	193	105
16	336	60	19	16	—	17	14	—	462	225	34	259	921	201	105
17	341	55	19	17	—	16	13	—	461	216	26	242	703	193	83
18	354	53	17	16	—	15	13	—	468	198	29	227	695	190	72
19	339	51	17	19	—	13	10	—	449	198	27	225	674	181	85
20	328	50	16	18	—	13	10	—	435	196	29	225	660	183	88
21	323	50	14	13	—	14	8	—	422	210	23	233	655	177	94
22	321	41	13	9	—	17	6	—	407	195	26	221	628	173	88
23	304	38	11	9	—	20	5	—	387	193	24	217	604	175	92
24	285	37	13	13	—	20	6	—	374	184	24	208	582	174	89
25	285	39	9	7	—	20	5	—	365	175	19	194	559	158	93
26	273	37	11	13	—	22	5	—	361	163	15	178	539	158	77
27	273	46	11	14	—	21	H27閉校	—	365	156	20	176	541	148	60
28	240	43	12	13	—	18	—	—	326	164	16	180	506	140	61
29	226	47	13	12	—	21	—	—	319	152	16	168	487	124	67
30	218	45	12	8	—	19	—	—	302	146	13	159	461	105	55
令和	弟子屈	川 湯	和 琴	美留和	川 湯 駅 前	奥春別	昭 栄	仁 多	計	弟子屈	川 湯	計	合計	道立弟子 屈高校	認定こども 園ましゅう
元	204	53	11	10	—	17	—	—	295	130	15	145	440	94	139
2	197	49	6	8	—	16	—	—	276	135	15	150	426	78	119
3	196	38	7	8	—	R3閉校	—	—	249	139	25	164	413	75	114

13. 文化財等

(1) 国指定

指 定	所在地	管理者	指定年月日	概 要
和琴ミンミンゼミ発生地	和琴	町	昭和26年 6月 9日	天然記念物 333,440㎡
アイヌ古式舞踊	屈斜路古丹	保存会	平成 6年12月21日	重要無形民俗文化財
釧路川流域チャン跡群	町内4箇所	土地所有者	平成27年 3月17日	特別史跡名勝天然記念物・史跡名勝天然記念物

(2) 北海道指定

指 定	所在地	管理者	指定年月日	概 要
弟子屈小学校のハルニレ・カエデ	弟子屈	町	昭和49年 3月30日	記念保護樹木
川湯小学校のハルニレ	川湯	町	平成15年 9月30日	記念保護樹木
川湯神社のミズナラ	川湯	川湯神社	平成15年 9月30日	記念保護樹木

(3) 弟子屈町指定

指 定	所在地	管理者	指定年月日	概 要
屈斜路マリゴケ	屈斜路	町	昭和44年 7月11日	天然記念物屈斜路湖一円
鑑別獅子舞	鑑別	保存会	昭和46年 7月31日	無形文化財 明治32年富山県射水地方より伝承
仁多獅子舞	仁多	保存会	昭和46年 7月31日	無形文化財 明治32年富山県砺波地方より伝承

(4) 埋蔵文化財

登録番号	遺 跡 名 称	種別	時代	登録番号	遺 跡 名 称	種別	時代
1	鑑別遺跡	住居跡	擦文	26	ピラオ第1遺跡	遺物包含地	不明
2	熊牛B遺跡	住居跡	不明	27	ピラオ第2遺跡	遺物包含地	不明
3	熊牛A遺跡	住居跡	縄文	28	弟子屈中学校校庭遺跡	遺物包含地	不明
4	丸山西遺跡	遺物包含地	縄文・擦文	29	下鑑別遺跡	集落跡	擦文・オホーツク
5	クツチャロシペ第1チャン跡	チャン跡	アイヌ	30	泉ヶ丘遺跡	遺物包含地	続縄文
6	札友内53線遺跡	遺物包含地	縄文	31	星川遺跡	集落跡	縄文中期
7	ポント第1遺跡	遺物包含地	縄文	32	サンベコタンチャン跡	チャン跡	アイヌ
8	弟子屈小学校遺跡	遺物包含地	縄文中期	33	熊牛チャン跡	チャン跡	アイヌ
9	弟子屈高校遺跡	遺物包含地	縄文	34	クツチャロシペ第2チャン跡	チャン跡	アイヌ
10	下仁多遺跡	遺物包含地	縄文・擦文	35	伊藤遺跡	遺物包含地	縄文
11	広本遺跡	遺物包含地	不明	36	西郷第2遺跡	遺物包含地	擦文
12	昭栄小学校遺跡	住居跡	縄文中期	37	池田遺跡	集落跡	擦文
13	矢沢遺跡	遺物包含地	縄文中期・続縄文・擦文・アイヌ	38	ピラクニ第2遺跡	集落跡	不明
14	ピラクニチャン跡	チャン跡	アイヌ	39	ピラクニ第1遺跡	遺物包含地	不明
15	ヌプバシュナイ第1チャン	チャン跡	アイヌ	40	ルイラン第1遺跡	集落跡	不明
16	ヌプバシュナイ第2チャン	チャン跡	アイヌ	41	ルイラン第2遺跡	集落跡	擦文
17	屈斜路古丹遺跡	墳墓	縄文早期・中期	42	ヌプバシュナイ第2遺跡	遺物包含地	不明
18	エントコマップ第2遺跡	遺物包含地	縄文中期	43	熊牛C遺跡	集落跡	続縄文・擦文
19	エントコマップ第1遺跡	遺物包含地	縄文中期	44	西郷第1遺跡	集落跡	縄文
20	ポント第2遺跡	遺物包含地	縄文中期	45	西郷第3遺跡	集落跡	不明
21	渡辺遺跡	遺物包含地	縄文中期	46	サンベコタン第1遺跡	遺物包含地	縄文中期・後期
22	後藤遺跡	遺物包含地	縄文中期	47	美留和第3遺跡	遺物包含地	縄文後期
23	美留和第1遺跡	遺物包含地	縄文中期	48	ニタトロマップ遺跡	遺物包含地	縄文
24	美留和第2遺跡	遺物包含地	不明	49	ウランコウシチャン跡	チャン跡	アイヌ
25	ヌプリオンド遺跡	遺物包含地	縄文・続縄文	50	丸山東遺跡	遺物包含地	縄文後期

14. 審議会等

(1) 管理課・指導室・給食センター所管の審議会等（委員定数）

- ①弟子屈町奨学審議会（10名）
- ②弟子屈町教育研究所運営協議会（10名）
- ③弟子屈町学校給食センター運営委員会（14名以内）
- ④弟子屈町学校運営協議会（各学校5名以内、弟小中は10名以内）

(2) 社会教育課所管の審議会等（委員定数）

- ①弟子屈町社会教育委員の会兼弟子屈町公民館運営審議会（12名）
- ②弟子屈町文化賞審議会（10名以内）
- ③弟子屈町文化財専門委員会（若干名）
- ④弟子屈町教育支援活動運営委員会（定数なし）
- ⑤弟子屈町スポーツ振興審議会（10名以内）
- ⑥弟子屈町スポーツ推進委員（20名以内）

15. 関係機関団体等

(1) 学校関係団体

- ①弟子屈町教育研究所
- ②弟子屈町公立学校進路指導連絡協議会
- ③弟子屈町学校保健協議会
- ④弟子屈町へき地複式連絡協議会
- ⑤弟子屈町特別支援教育推進会議
- ⑥弟子屈町子どもサポート隊
- ⑦弟子屈町生徒指導連絡協議会
- ⑧弟子屈町中学校体育連盟
- ⑨弟子屈町小中高連携会議
- ⑩弟子屈町校長会
- ⑪弟子屈町教頭会
- ⑫弟子屈町イングリッシュキャンプ実行委員会

(2) 社会教育関係団体

- ①弟子屈町文化協会
- ②絵本の会おはなしはらっぱ
- ③弟子屈町未来こども協議会
- ④弟子屈町スポーツ協会
- ⑤弟子屈町文化・スポーツ少年団本部
- ⑥弟子屈町連合父母と先生の会
- ⑦ユースフルネットワークてしかが
- ⑧弟子屈町女性団体協議会
- ⑨てしかが郷土研究会
- ⑩弟子屈町子ども読書活動推進会議
- ⑪屈斜路古丹アイヌ文化保存会
- ⑫弟子屈町生涯学習推進本部
- ⑬鑑別獅子舞保存会
- ⑭川湯ばやし保存会
- ⑮弟子屈町総合文化祭実行委員会
- ⑯弟子屈町児童生徒読書感想文コンクール実行委員会
- ⑰弟子屈町教育支援活動運営委員会
- ⑱弟子屈町学校開放協議会
- ⑲仁多獅子舞保存会

16. 主な団体構成

(1) 弟子屈町文化協会構成

加盟団体	会員	加盟団体	会員	加盟団体	会員
弟子屈短歌会	11	舞踊華	5	日本民謡三絃渡邊孝帆会	19
香墨習字勉強会	12	弟子屈摩周湖民踊会	7	川湯ばやし保存会	59
摩周多夢窯	16	しらかば合唱会	15	アイランドバトンクラブ	34
生田流琴友会	11	川上シンフォニアウインドアンサンブル	16	摩周吟詠会	14
聖月流川湯支部	8	摩周歌謡カラオケクラブ	9	14団体・236人	

(2) 弟子屈町スポーツ協会構成

加盟団体	会員	加盟団体	会員	加盟団体	会員
ソフトボール協会	17	卓球協会	10	サイクリング協会	11
バレーボール協会	24	ゲートボール協会	18	パークゴルフ協会	114
軟式野球連盟	41	柔道協会	28	ソフトバレーボール協会	40
スキー協会	23	バドミントン協会	12	セーリング協会	8
ソフトテニス協会	23	空手協会	20	摩周山岳協会	28
スケート協会	10	バスケットボール協会	13	テニス同好会	37
剣道同好会	11	水泳協会	35	20団体・523人	

(3) 弟子屈町文化・スポーツ少年団本部構成

加盟団体	会員	加盟団体	会員	加盟団体	会員
摩周空手道	8	弟子屈スピードスケート	12	卓球	13
弟子屈剣道	13	弟子屈バレーボール	15	弟子屈柔道	8
I&Mバトンスタジオ	26	KAWAYU	23	弟子屈バスケットボール	13
弟子屈陸上	8	摩周サッカー	29	川湯ダンスクラブ	20
弟子屈ソフトテニス	9	弟子屈RC	14		
摩周ジャガーズ	13	弟子屈吹奏楽	11	16団体・235人	

17. 弟子屈町教育の特徴

(1) 弟子屈町教育委員会

- ① 弟子屈町教育委員会ホームページでの情報提供
(弟子屈町教育委員会事務事業の紹介・定例等教育委員会議事内容の公表・学校給食センター献立等の公表・社会教育施設活動等の紹介・各小中学校ホームページとのリンク等)
- ② 「教育委員コラム」及び「教育長日記」の作成及び公表
- ③ 「移動教育委員会」の実施
- ④ 「弟子屈町総合教育会議」の設置
- ⑤ 「弟子屈町教育振興計画」の策定と年次改訂(平成25年度～令和4年度)、「弟子屈町教育大綱」と兼ねる

(2) 学校教育

- ① 「弟子屈町奨学資金貸付」の実施
- ② 「心の教室相談員」の配置(町単独1名)
- ③ 「スクールカウンセラー」の配置(北海道教育委員会1名)
- ④ 「外国語指導助手」の配置(町単独2名)
- ⑤ 「指導方法工夫改善」等の教員加配(弟子屈小1名/弟子屈中1名)
- ⑥ 「弟子屈町教育委員会研究指定校」制度(和琴小/弟子屈中/川湯中・補助)
- ⑦ 「弟子屈町教育研究所研究協力指定校」制度(川湯中1校・補助)
- ⑧ 道教委指定「北海道ふるさと教育・観光教育推進事業(アイヌ文化)」(和琴小学校)
- ⑨ 「へき地2校集合学習」実施(和琴小/美留和小・補助)
- ⑩ 「郷土学習シリーズ」作成発行(平成17年度～平成24年度終了・8小中学校の取組)
- ⑪ 「弟子屈町子どもサポート隊」の設置(子ども安全見守り隊・町民61名自主登録)
- ⑫ 「北海道弟子屈高等学校」への支援事業
(学習支援・強歩遠足事業支援・北海道英語ディベート大会出場支援・北海道新聞コンクール出場支援・町外国語指導助手の派遣支援・修学旅行費用の一部支援・公民館と高等学校との連携講座開設等)
- ⑬ 「公設民営塾」の開設(講習会の通年化)
- ⑭ 「小学校・中学校・高等学校」との連携事業等
(弟子屈町公立学校長連携会議[小中高校長]・吹奏楽連携[弟子屈小/弟子屈中/高等学校]・部活動連携[弟子屈中/高等学校]・道教委指定:「小中高一貫ふるさとキャリア教育推進事業」[弟子屈小/弟子屈中/高等学校])
- ⑮ 小中学校児童生徒の学校給食費の無償化

(3) 社会教育

- ① 「第7次弟子屈町社会教育中期計画」の樹立(平成29年度～令和3年度)
- ② 「第3次弟子屈町子ども読書活動推進計画」の樹立(令和3年度～令和7年度)
- ③ 「全国・全道規模のスポーツ関連大会出場」への支援(対象経費の選手80%引率100%補助)
- ④ 「全国・全道規模の文化関連大会出場」への支援(対象経費の70～80%引率100%補助)
- ⑤ 「総合型地域スポーツクラブ 摩周ふれあいスポーツクラブ」の創設
- ⑥ 「郷土資料収蔵庫てしかがの蔵事務所」の設置
- ⑦ 「屈斜路コタンアイヌ民族資料館」の設置
- ⑧ 「更科源蔵文学資料館」の設置
- ⑨ 「文化賞」「スポーツ賞」の実施
- ⑩ 「青少年健全育成事業」の実施
(「少年の主張弟子屈町大会」「摩周おこと教室」「てしかが子どもクラブ」の開催、未来こども協議会への支援等)
- ⑪ 公民館「ふるさと講座」開設
- ⑫ 「公民館ミニコンサート」の開催
- ⑬ 「公民館ロビー展」の通年開催
- ⑭ 「芸術鑑賞バス事業」の実施(他市町村で開催する芸術文化事業への参加)
- ⑮ 「図書館バス」の運行
- ⑯ 「図書館と学校との連携」による図書館システムの導入(図書館と6小中学校との接続等)
- ⑰ 「弟子屈町民大学校」の開設及び「学知賞」授賞制度導入
- ⑱ 「生涯学習講演会」の開催(年2回)
- ⑲ 「ニュースポーツ教室」の開催
- ⑳ 「美羅尾山ろく完走マラソン」の開催
- ㉑ 「摩周ウォークラリーゲーム」の開催
- ㉒ 「水泳教室」の通年開催、「町民水泳大会兼記録会」の開催

※順不同



摩周湖といで湯のロマン弟子屈町

令和3年度弟子屈町の教育

令和3年6月

発行 北海道川上郡弟子屈町中央2丁目3番1号
弟子屈町教育委員会

電話 015-482-2945(管理課・指導室)
015-482-2948(社会教育課)

URL <http://www.town.teshikaga.hokkaido.jp>